

成・確保に取り組むとともに、災害の未然防止を図るための測量設計、危険な形状の交差点や、緊急車両の通行に支障をきたしている箇所の改良に着手し、地域の安全確保と町民生活の安定に努めてまいります。

河川・水路維持関連では、準用河川6河川の維持管理を行うなど、豪雨等による被害の低減に努めるとともに、災害で堆積した土砂や倒木の除去を引き続き行い、安全性の向上に取り組んでまいります。水道事業は、安全・安心で良質な水道水の安定供給のため、施設の長寿命化や規模の適正化、管路の耐震化を図るとともに、計画的かつ効率的な整備及び維持管理を推進してまいります。

下水道事業においては、地方公営企業法を適用した企業会計へ移行し、投資の効率化や維持管理費の削減、水洗化率の向上等により、経営健全化を推進してまいります。

保健・医療 福祉の充実

高齢者福祉・
介護保険事業
につきまして

は、「社会とのつながり」の確保に重点を置き、公助・共助・互助・自助それぞれの観点から、地域における仕組みづくりの支援などを

行つてまいります。

また、町の地域包括支援センターにつきましては、今後の重層的な支援体制の構築および専門職人材による長期的、安定的な支援体制の確保を図るため、白鷹町社会福祉協議会との連携を強化し、取組を進めてまいります。

障がい者福祉につきましては、ライフステージに合わせた福祉サービスの提供等の支援を行うとともに、障がいの有無に関わらず、個性をいかし、ともに支え合う「地域共生社会」を目指してまいります。

健康づくり事業につきましては、歯周疾患検診の対象者を20代・30代の方にも拡大するとともに、健康教室や介護予防教室において健康状態の見える化を図り、個々の状況に合わせた目標設定と指導等に活用することで、「自分の健康は自分で守る」意識の定着を図ります。

本町医療の核を担う町立病院につきましては、「地域住民から信頼される病院」の基本理念の下、地域医療を守る旨として、持続可能な運営を目指す「経営強化プラン」に基づき、将来にわたる安定的な医療提供体制の確保と環境整備に努めてまいります。

施策の柱「定住化」

良好な住環境 の確保

住宅施策では、定住促進・転出抑制対策として、引き続き子育て・若者世帯の住環境の整備やその取得等に対する支援を行つてまいります。

空き家対策につきましては、所有者に建物の適正管理を促すとともに、空き家利活用の支援、危険空家等解体に対する助成を行うなど、総合的に取り組んでまいります。

新たな人の 流れの形成

本町への新しい人の流れをつくるため、

引き続き総合的な相談窓口を設置し、移住体験ツアーの実施や、充実した移住支援策、保育料完全無償化をはじめとした手厚い子育て支援施策の積極的なPRを行い、UIJターンによる移住者を確保するとともに、定住には至らないものの、本町に関心を持ち、継続的に多様な形で関わる関係人口の拡大に向けて新たな取組を進めてまいります。

さらに、地域経済の担い手として外国人材のニーズは今後ますます

高まることが予測されることから、受入体制の整備など外国人が暮らしやすい環境整備に取り組みます。

加えて、仙台しらか会等への継続した支援のほか、新たに首都圏白鷹会に対し支援を実施するとともに、紅花友好都市協定を締結した埼玉県桶川市をはじめ、災害相互応援協定を締結しているなど縁のある自治体との交流を推進してまいります。

行財政改革の推進

行財政改革につきましては、第6次行財政改革大綱に基づく行動計画を着実に進めるとともに、第6次白鷹町総合計画に掲げる施策を効率的・効果的に実現するための組織・人づくりを進めてまいります。

以上、令和6年度の施政方針として、本町のさらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまには、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



林業の成長産業化

本町の森林の多くは本格的な利用期を迎えており、「白鷹町森林」とつながる暮らしビジョン」に基づき、伐つて、使つて植え、そして育てる「緑の循環システム」の構築に向け、航空レーザ測量によるデジタルデータを活用した筆界想定図作成を令和6年度から実施し、順次、効率的な森林境界明確化、森林資源の把握等を進めてまいります。

また、機械化、省力化等による森林施業の低コスト化を推進するため、路網の整備を進め、森林資源の活用と川上から川下までを網羅する森林・林業の再生に取り組んでまいります。

有害鳥獣対策につきましては、被害の軽減に向け、地域および関係機関との緊密な連携を図りつつ、地域や生産者が一体となった取組を支援するとともに、町単独による有害鳥獣処理施設整備に向けた検討を行ってまいります。

地域産業の振興

本町の経済状況は、新型コロナウイルス
感染症の影響は和らぐ一方、原材料や燃料費、電気料金などの物価高騰が長引いており、企業は厳しい

経営環境におかれているものと認識しております。引き続き、経済動向を注視し、必要な支援策に取り組んでまいります。

商工業振興につきましては、企業立地および設備投資に伴う雇用の創出に向け、産業団地造成の検討を進めるとともに、就労環境の改善や正社員化に向けた取組の支援を継続してまいります。

観光振興につきましては、コロナ禍後の観光需要の変化を踏まえた新たな観光交流推進計画の策定に取り組むとともに、白鷹町観光協会や関係団体、近隣市町などの連携により、地域の魅力を発信し誘客拡大に取り組んでまいります。

また、ふるさと森林公園につきましましては、新たな指定管理者による運営に移行されるとともに、施設の再整備に向け基本構想の策定を行ってまいります。

さらに、「日本の紅をつくる町」として、紅花の安定した生産に向け、課題である「連作障害」への対応を図り、生産量日本一の継続と、紅花文化の伝承や、魅力ある観光資源として発信することで、地域活性化につなげてまいります。

施策の柱 「地域力」

安心して暮らせるまちづくり

近年、自然災害が激甚化・頻発化している

ことや、災害から得られた教訓、社会情勢の変化等を踏まえ、新たに「白鷹町防災士ネットワーク」を設立し、防災士の連携強化と防災意識の向上を図るとともに、消防団においては本部の組織体制を強化するなど、地域防災力の向上に取り組んでまいります。

また、引き続き、防災基盤として、有蓋貯水槽や消火栓などの消防施設の整備を進めてまいります。

特性を生かした

それぞれの地域づくり

各地区では、各地区での地域づくりの拠点であるコミュニティセンターを中心に、それぞれの特色を生かした町民が主役の地域づくりが行われております。今後も、創意工夫が発揮されるよう、地域づくり推進交付金等による支援や、分館整備への支援を行ってまいります。

また、集落支援員を増員し、集落の維持・活性化に向けた支援を強化するとともに、地域おこし協力隊においては、引き続きインターン制度などを活用し、隊員の

増員と活動の定着を図ってまいります。

持続可能な

循環資源の利用

環境施策につきましましては、

「第3次白鷹町環境基本計画」および「地球温暖化対策実行計画」等に基づき、町民・事業所・町が一丸となり、自然環境との共生による持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

また、地球温暖化対策に対し当事者意識を持つて取り組んでいただけるよう、セミナーの開催やマイレージ事業などによる普及啓発に努めてまいります。

定住条件の

充実

道路交通網の整備につきま

しては、引き続き国道348号の高規格化による再整備、国道287号道路改良の推進に向けて取り組むとともに、一般県道深山下山線黒滝橋の架け替えや、長井く白鷹間西廻り幹線道路の整備など、関係団体と連携し要望活動に努めてまいります。

また、路線案が検討されている主要地方道長井大江線の早期着工の要望活動も行つてまいります。町道維持・整備では、引き続き、除雪機械の整備や除雪担い手の育

